


第1回 五泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略市民検討委員会のまとめ

■当委員会の目的と流れ

目的	「住んでよかった、住みたいまち五泉」の実現に向けて、人口減少対策を含めた地方創生に関する計画に対し、市民・各界の代表として検討を行うこと。
検討内容	① 五泉の強み・弱み・まちづくりの方向性 (6/16) 
流れ	② 将来展望・基本目標(案)・施策の方向性 (7月)
	③ 施策・指標の検討 (8月)
	④ 今後に向けた取組 (9月)

■開催概要

日時	平成27年6月16日(火) 14:00~16:00
会場	五泉市消防本部 3F 講堂
参加委員	18名(産学官金労言の各分野計20名構成)
説明内容	①「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の概要について ②策定体制について ③策定スケジュールについて ④市民アンケートについて ⑤人口の現状分析について
意見交換	地方版総合戦略の4つの基本目標に照らした五泉の現状・課題・今後に向けて

■実施状況



伊藤市長の開会あいさつ 本委員会の武井会長(左)、伊藤副会長(右)



各界を代表してお集まりの委員の皆様には“五泉の目利き屋”として、ご意見を出して頂きました。

※五泉の目利き屋：五泉のよし悪しを見分ける達人

■意見交換「地方版総合戦略の“4つの基本目標”に照らした五泉の現状・課題・今後に向けて」の結果

基本目標	強み・良い特徴 (◎すごく良い・○良い)	弱み・改善すべき特徴 (△悪い・×すごく悪い)	今後のまちづくりで特に重要なこと
安定した雇用	◎「繊維のまち」産業の特色が出ている ◎製造業の働く場がある 	△所得水準が低い △男性の職場が少ない △これからの子どもたちの将来性が見いだせる就職先がない ×給料が安い △農業の新規就農者が少ないのでは？	●ニット産業は日本一なので地場産をもっとアピールしてイメージアップを図った方よい ●県外流出者の大卒者を町に呼び戻す方策があってもよい起業家の育成をして活性化に結び付ける ●新規事業へのサポート ●製造業とのスーパー兼業農家を育成する 
	◎通勤時間が短い(家→職場：車で約10分) 	△通勤・通学が不便。交通が街中しかないため、マイカーが必要 △交通のアクセスがやや悪い △JR(本数)が少なく新潟市への通勤に時間がかかる。飲んで帰れない	
五泉での新しい人の流れ	◎自然が多い ◎春に売りがあがる(チューリップ畑・桜) ◎水、農産物、温泉、花等の観光資源が多い	△JRの本数が少ない △新潟市からの道路事情が悪い	●観光産業の推進 特に花の名所が多いので線で結ぶ ●繊維産業や城下町村松のよさをアピールする ●定期的にイベントに参加し、来てもらうことで、まずは知ってもらう ●スポーツの強化
	○定期的なイベントの開催(紅葉マラソン等) 	△良いものはたくさんあるのにまとまったイベントがなく、もったいない △若い人の集まる(参加する)場所・施設・イベントが少ない	●県外からのお見合いイベント等を行って五泉へ嫁に来てもらう ●アウトレット等のテーマパーク等をつくると雇用・人口・出会い等、色々なことがプラスに働くと思う
	○土地が安いので家が建てやすい ○若い者が転入してくるのはウェルカムなムードがある 	△世間が狭すぎてよその者が入りにくい △多様な生き方があるという意識を持つために、もっと外に出た人が帰ってきたらよいと思う	●土地が安いことをアピールするとよい。どんどん家を建てよう ●市の支援金を出し、住宅の区画整備をする ●新潟市のベッドタウン化 ●生き生きと五泉で生活している人をたくさん見出して紹介する
結婚・出産・子育て 若い世代の	◎自然環境に恵まれている ◎農産物が新鮮でおいしい ○自然環境が子育てに適している ○小中学校が安定している。のびのび育てられる	△生涯未婚率が高い?低い? ×産婦人科がない ×子どもを産める産院がない 	●産院がないので、市外の医療機関にかかる傾向が強い。医療体制の整備が必要 ●考え方を直す。仕事をシェアするという考え方など
	◎新潟との距離が近い ◎地価が安い	○近隣の他市町村に比べ、子育て助成金等手厚い	●出産・子育てへの財政支援をあとと驚くほど行う ●出産の時のお祝い金を100万、200万にするとともに若い世代は出産しやすくなり、子どもも増えると思う ●住宅建設資金の補助金(ファミリー支援)
安心な暮らし 地域連携	◎夜の繁華街やゲームセンターのような場所が少ないので安全? ○犯罪が少ない ○地域の防災チームができ始めていて、いざという時安心 ○地元のお祭りはにぎやかでよい ○市役所(行政機関)が身近である。健康診断等のサービスがある	△熊が出る  注意	●郊外型のアウトレット店や大型店への土地の提供で人の流れをつくる ●高齢者が多くなるので老人が住みやすいまちを考え、「歳をとったら五泉だよ」となるとよい ●商店街の活性化 ●子どもが地元を知る機会を増やす→地元への愛着を育む、地元を好きになる施策 ※高齢者の健康年齢が知りたい(高かったら五泉をアピールできる)

全体を通じたご意見・ご感想 ●東京からパートナーを招いた方は結構いる。結婚などでよそから移住するキッカケづくりを考えてはどうか。
●親と同居する若手が少なくなり、長男でも実家を出ていく人が増えている。若者が魅力を感じるようなことを考えてはどうか。